

事務事業名	大内地区公民館まつり				担当	教育委員会 生涯学習課 大内分館	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成6年度～）	
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4社会教育費	3公民館費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	子どもからお年寄りまで参集して大内地区に根付いている『伝統芸能』の後世伝承、と公民館活動の啓発、地域文化活動の地域住民のコミュニケーションを図るため開催している。 総事業費579,276円(市交付金72,000円、賛助金480,600円、雑収入26,676円)						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 地域公民館長、区長を主体とした実行委員会を2回開催し役割分担やプログラム作成。関係団体に案内状の発送。各戸回覧板等でのPR。前日準備、当日の運営は、大内地区各種団体が担当。準備等を行う。地域公民館数21館(参加住民1,465人) 2年度計画 令和元年度に同じ	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 打合せ会議の回数 回 3 3 3 3 3 イ 地域公民館の参加数 館 21 21 21 21 21 ウ 参加した住民の数 人 1,581 1,952 2,036 1,465 1,416 エ オ
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 大内地区内地域公民館及び住民	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 地区内公民館数 館 21 21 21 21 21 イ 地域住民数 人 6,705 6,581 6,500 6,419 6,314 ウ エ オ
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 公民館まつりに参加してもらい、地域住民のコミュニケーションと地域の活性化を図る。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 参加公民館数 / 地区内公民館数 % 100 100 100 100 100 イ 参加住民数 / 地域住民数 % 23.58 29.66 31.32 22.82 22.43 ウ エ オ
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 公民館活動を活性化し、住みよい地域づくりに結びつける。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 地域活動に取り組んでいる市民の割合 % 41.5 39.7 41.7 40.1 40.7 イ (市民意向調査による) ウ エ オ
(2) 総事業費の推移	単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込)
投入量	事業費 財源内訳 国庫支出金 千円 0 0 0 0 0 県支出金 千円 0 0 0 0 0 地方債 千円 0 0 0 0 0 その他 千円 0 0 0 0 0 一般財源 千円 72 72 72 72 72 事業費計(A) 千円 72 72 72 72 72
	人件費 正規職員従事人数 人 2 2 2 2 2 延べ業務時間 時間 110 110 110 110 110 人件費計(B) 千円 457 457 459 445 445 トータルコスト(A)+(B) 千円 529 529 531 517 517

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	地域公民館活動の活性化及び地域公民館のコミュニケーションの推進を図ることを目的に市内4地区が同時に始めた。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	地域住民のニーズが多様化している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公民館活動の啓発、地域住民のコミュニケーションを図ることは、住みよい地域づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公民館活動の充実、市の施策である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 地域公民館と地区住民である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 地域公民館の活性化と地域づくりが行われている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地域活動や連帯意識の低下につながる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業運営の最小限の交付金である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議・当日運営に係る人件費であり、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地区全ての人を対象にしているので公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							